

# 姉妹・友好都市

SISTER CITIES NEWS

# ニュース



茨木市制50周年

第 31 号  
平成10年12月15日発行  
編集・発行  
茨木市国際親善都市協会



ミネアポリス市民親善訪問団

## 目次

- ミネアポリス市民親善訪問団 交流行事で茨木を満喫 ..... P.2・3
- 50周年を機に一層の「友情と連帯」を ..... P.4
- ミネソタ州日本語村だより ..... P.5
- 茨木市民親善訪中団 安慶市で有意義な滞在 ..... P.6
- ふれあい交流で楽しい1日 ..... P.7
- 姉妹都市活動室、WE ARE FRIENDS、これからの行事、寄付 ..... P.8

ミネアポリス市民親善訪問団

# 交流行事で茨木を満喫

## もりだくさんの交流

久保田 民子

一行到着翌日の10月30日(金)、日本文化を体験してもらおうと、姉妹都市活動室主催のワークショップを開きました。まず全員に簡単な日本語のレッスンを受けていただき、その後着物の着付け、茶道、華道、琴、尺八、盆栽、折り紙、囲碁等各自の興味の赴くままに体験していただきました。私は、華道の担当でした。専門の方にとってはまゆつばものかもしれませんが、まずは紹介、体験、そして楽しむことに重点を置きました。盛花の基本形に生けた花を見て基本にそって生けた人、全く自由に生けた人、中には作品に「扇」と題を付けた人もいましたし、何度も席を立てて遠くから眺めて生け直した人もいました。できあがった作品をカメラに納め、一応にご満悦の様子でした。

週末は、それぞれのホームステイ家庭とすごされ、2日は神戸観光と学校訪問とにわかれしました。高校生の訪問団員は府立茨木西高等学校で1日を過ごし、ミネアポリス文化協会会長は今年2月のヤングアーティストプログラムへ出品された絵画を返却するため、府立春日丘高校を訪問されました。

神戸観光では、明石大橋、中華街、震災のメモリアルパーク、六甲牧場を訪問。メモリアルパークには損壊した岸壁と傾いた街灯がそのままに残っていましたが、大きな海を背にした姿には、あの時の凄さは100%伝わってきませんでした。同行した者が地震の事を伝えたのですが、広島を訪れた誰もが受ける印象に比べるとインパクトが弱いように思えました。この間、ワークショップで習った日本語を使ったり、レッスンで配った紙を持参されている方が多く感激しました。



書道の体験



生花を指導する久保田さん



着物の着付

10月29日～11月4日、市制施行50周年を記念し、ミネアポリス市から43人の訪問団をお迎えしました。

一行は記念式典への出席やワークショップなど、たくさんのプログラムに参加されました。今回は姉妹都市活動室の久保田民子さんと、ホームステイ家庭の岩城佳子さんの報告をお届けします。

## 「また会おうね」の約束

岩城佳子

ちょっとした冒険心から応募した今回のホストファミリー体験は、私達家族をはじめ、ホームパーティーに参加してくれた友人に至るまで、忘れられない一生の思い出の一つになったことはいまありません。

彼女達に見せていただいた日本での注意事項が書かれた資料はとても興味深く、現在の日本とは程遠い、かけ離れた日本が写しだされていました。

そこで、今回の滞在中その誤解を解くべく、ありのままの私達の生活を見てもらうことこそが交流の意義を果たすことになるものと、頑張りすぎず、彼女達を家族の一員として過ごしました。

改めて感じたことは、「日本は文化の多い国」という事。彼女達から次々と投げかけられる質問は難題が多く、私達も悪戦苦闘ではありましたが、再勉強の機会を与えられたものと思ひ、これからの課題にしたいと思ひます。

いつの日か再会する事を夢みながら……



茨木市制施行50周年記念式典に出席



作品をお返しするレインビル会長



見山で稲刈りを体験



岩城さんと訪問団員



歓送パーティーで歌のプレゼント



表敬訪問



ベルトン市長と大植英次さんを囲んで

## ミネアポリス市長・ミネソタ管弦楽団来茨 50周年を機に一層の「友情と連帯」を

茨木市制施行50周年を記念し、9月20日(日)、姉妹都市・ミネアポリス市からミネソタ管弦楽団によるお祝いの「音楽の花束」が届きました。

「ミネソタ管弦楽団」は、1903年に創立された95年の歴史を持つアメリカ有数のオーケストラですが、音楽監督・指揮者が日本人の大植英次さんであるとともに、初めての日本演奏旅行でもありました。公演当日は、立ち見ができるほど満席となりました。

モーツァルトとベートーベンの交響曲の演奏は、綿密で躍動感や華やかさを合わせ持つ音色となり、会場内に響き渡りました。聴衆は、世界有数の音楽のレベルに接し、興奮と感動の大きな拍手で熱演を

賞賛しました。

また、シャロン・セイルズ・ベルトンミネアポリス市長一行が同公演に合わせて茨木市制施行50周年を祝賀するため来茨されました。

ベルトン市長は、「ミネソタ管弦楽団の茨木市での公演は、両市を新たにつなぐものになると確信するとともに、茨木市制施行50周年記念の行事に加えていただいたことは、大変名誉なことであり、茨木市民とご一緒できることに感激しています」と述べられ、50周年を機により一層の友情と連帯を深めることを相互に確認しました。



ミネソタ管弦楽団

## 皆で楽しんだ文化交流

福田 正之



少林寺拳法のクラス

茨木市国際親善都市協会の紹介でミネソタ州デントにある日本語村「森の池」に日本語・日本文化のカウンセラーとして7月から1ヵ月半行ってきました。

これは、あるカレッジが主催するサマーキャンプで、小・中・高校生の男女を日本文化の中に浸してしまい、その中で日本と日本語を教え、地球社会に生きる責任ある市民に育てようとするものです。

生徒は70人、カウンセラーは30人(内日本人は10人、渡米した者5人)。

キャンプ場は広い広い畑に囲まれた森の湖畔にあり、テレビ・ラジオ・新聞は一切無し。そこでみこしを担ぎ、盆踊りを踊り、神主になって神前結婚式を演出し、参拝の仕方、囲碁、詩吟、少林寺拳法、ソロバンなど盛り沢山の日本を披露し、同時に遊びの中で言葉も指導しました。

また、童謡を大声で歌い、昔話の芝居も生徒達に喜ばれました。24時間生徒と生活を共にし、遊戯やカラオケ等を通じて日本を知って貰いたいと努めました。

日本における外国語教育も現在の学校教育に加え、子ども達を異文化のなかに「浸し」、ネイティブスピーカーと遊んだり歌ったりしながら生きた言葉を習得させる環境がほしいと感じました。

# ミネソタ州日本語村だより

## 忍耐、寛容、そして尊重

岡坂健太郎

紺碧の空。生い茂る緑の木々。湖に映る朝日。耳をすませば小鳥のさえずり。森の池の一日の始まり。70名の生徒達とカウンセラーは長い一日を迎えます。ラジオ体操、クラブ活動、日常会話のクラス、日本文化を体験する夜のプログラム。カウンセラーが一足先に村に入る時、「森の池」は白紙のキャンバスです。何も無いところから紙と鉛筆、そして大自然を用いて、少しでも日本語を習得し、日本文化を体験してもらおうと、毎晩互いの不十分な英語と日本語を交えながら夜更けまで討論し合い、そのキャンバスを埋めてゆきます。

指導には、各カウンセラーのアイデアがそのままクラスに活かされます。私が担当した剣道では、礼で始まり礼で終わる、相手に対する敬意といった「こころ」の部分も伝えようと尽力しました。当初は好奇の眼差しを向けていた生徒達も、2週間後の国際の日(全語学村が集う祭典)で日本を代表して演武したときにはその「こころ」を十分に理解したことを示す素晴らしい剣道を見せてくれました。

「国際交流」と言葉で言うことは簡単。でも、そこには真に忍耐、寛容、そして他を尊重する姿勢が不可欠であることを体験しました。真の国際人となれるようこの経験を活かし、次のステップに挑むつもりです。



クラスの生徒達と

茨木市民親善訪中団  
安慶市で有意義な滞在

10月14日～20日



平成10年10月14日。総勢18名の訪問団は、関西国際空港でいきなり飛行機の欠航というアクシデントに出会い、約4時間の足止めを余儀なくされました。氣勢をそがれた感がありましたが、何とか全員無事元気に上海空港に到着。

予定時間を大幅におくれながらも上海市内(玉仏寺、黄浦江沿の外灘等)を見学。高層ビルの建設ラッシュの続く東洋一の国際都市上海。なるほど東方明珠テレビ塔の建つ浦東地区と、古くからの洋風建築が立ち並ぶ黄浦江沿いの外灘とは対象的に趣は違いますが、経済都市で発展中の上海市内の中心地。素晴らし



いの一言。

その深夜、寝台列車で13時間かけて安慶市へ。早朝、列車の窓から見る風景はのどかな農村地帯が広く長く続き、とてつもなく広い大地という感じでした。途中、大雨による被害で多くの田畑が泥沼のようにになっている所もありました。到着した安慶市では表敬訪問、歓送迎会など鄭市長をはじめ、多くの関係者の温かいもてなしを受け、大変有意義な滞在となりました。また、黄山や屯溪もまさに中国の文化と歴史を写し出していました。

今回、茨木市民親善訪中団の随員として中国を訪問した貴重な体験は、私の「心の財産」としていつまでも胸の内に残ることになるでしょう。

(随員職員 寺田 浩)



# ふれあい交流で楽しい1日

ボランティア通訳 伊藤 博捷

今回のふれあい交流に参加したのは、東南アジア、中近東、アフリカ、中南米各地の11カ国から来日したJICA研修員20人と、市民24人でした。

他にJICEの通訳の方2名と、茨木市・ミネアポリス市姉妹都市委員会のボランティアグループである活動室から4名が通訳としてお手伝いさせていただきました。

9月26日(日)朝、交流をより深めるように全員が6つのグループにわかれて、2台のバスで市役所を出発しました。

今回は健康増進センター、忍頂寺スポーツ公園を訪問し、竜王山荘での昼食のひとときを過ごし、国立民族博物館を経て、最後にJICA研修員の宿泊所となっている大阪国際センターでティーパーティーを行いました。

今回の交流では、バスの中、昼食の時、訪問の先々で相当打ち解けることができ、最後のティーパーティーでは研修員からお国自慢の歌が数々披露されるとともに、市民の方々からもお返しの歌もでて、楽しい1日となりました。

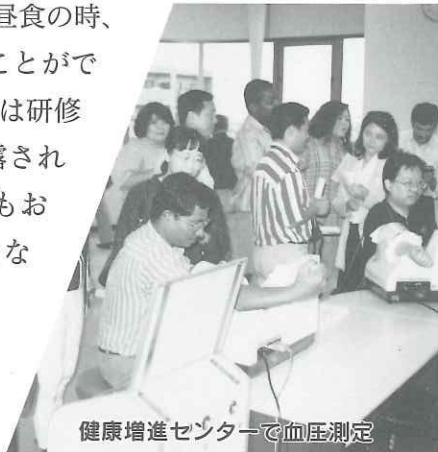
(JICA:国際協力事業団)  
(JICE:日本国際協力センター)



伊藤さん(右側手前から2人目)



全員集合でパチリ(竜王山荘)



健康増進センターで血圧測定



お国自慢の歌を披露



## ● 会員募集 ●

本協会では、姉妹、友好都市交流をはじめ、国際交流に興味を持っておられる方々の入会をお待ちしています。

会員には、春と秋に発行する協会報や、協会が催す交流行事のご案内をいたします。

〈年会費〉個人会員(一般) 2,000円 (学生) 1,000円

団体・法人会員 5,000円

〈申込先〉協会事務局(市役所南館8階自治振興課国際交流係)

☎20-1604

## Think Globally, Act Locally 茨木市姉妹都市活動室

(IIN)

市制施行50周年の今年は、茨木市とミネアポリス市との数々の交流行事がありました。

茨木市姉妹都市活動室(IIN)では、ベルトン市長を囲む会、ミネアポリス市民親善訪問団日本文化体験ワークショップの主催等を通じ、楽しい交流を深めることができました。

毎月の例会では、地域の外国人ゲストを招き、世界のホットな話題を語り合っています。



ベルトン市長を囲んで

例会：毎月第1木曜日 am.10:00~12:00  
第3土曜日 pm.2:00~4:30(見学自由)  
会場：クリエイトセンターまたは福祉文化会館  
連絡先：(0726)36-6744 高嶋または協会事務局

## WE ARE FRIENDS

青少年活動室

青少年活動室「We Are Friends」は学校で習った英語を実際にためしてみるところです。

季節のイベントや、クッキング、世界の国々について英語を使ったゲームやクイズで楽しみながら、自然に英語に親しめます。

講師はウェンディ久徳さん。

毎月第3日曜日の午後2時~4時、参加費無料で行っていますので、ぜひ遊びに来て下さい。



ハロウィーンパーティー

## これからの行事

新しい年1999年に入ると、1月23日に「国際交流の集い」が市役所南館10階大会議室で、午後1時から開催され、歌やゲーム、外国人による日本語スピーチ大会で市内在住の外国人達と交流の機会を楽しんでいただけます。

また、3月にはJICA大阪国際センター研修員との「市民ふれあい交流」が予定されていますし、春休みには、水泳と卓球の親善試合を行うため、中学生の「スポーツ親善訪中団」が友好都市・安慶市を友好訪問します。

### 寄付

本市の国際交流事業推進のためにと次の方々から温かいご寄付をいただきました。

ご厚志に心からお礼申し上げます。

(4月~11月敬称略)

|      |    |           |         |
|------|----|-----------|---------|
| 〈市へ〉 | 6月 | 国際ゴルフ株式会社 | (100万円) |
|      |    | 佐藤良和氏     | (51万円)  |
|      |    | 茨木道路研究会   | (50万円)  |
|      | 7月 | 茨木市建築組合   | (200万円) |